

独自プログラム

中学校区の課題やこれまでの取組を踏まえ、各中学校区で独自に取組をお願いします。



いじめゼロ集会



挨拶運動

思いやりがあり、
進んで学習する子ども
新津第一中学校 新津第一小学校
新津第三小学校

新津第一中学校区(新津第一小学校・新津第三小学校)では「(アイ)プロジェクト」と称し、独自の小中一貫教育を推進しています。
6つの部会(学習・生徒指導・特別活動・総合学習・特別支援・教務)で連携した取組を行っています。全家庭への学習リーフレット配布、小中連携挨拶運動、中学校いじめゼロ集会への小学生の参加などの活動を通して、保護者の願いである「思いやりがあり、進んで学習する子ども」の育成を図っています。



取組を伝える印刷物



小中合同で花の栽培

両川を誇り、挑戦しつづける
たくましい子
両川中学校 両川小学校

両川小学校・中学校では、学力向上・生徒指導・健康保健・特別支援の4部会で、小中一貫教育に取り組んでいます。学習スタンダードを共通で作成したり、家庭学習強調週間と生活リズム週間とを連動させたりすることで、望ましい学習習慣と生活習慣の育成を図っています。

また、朝のあいさつ運動やUDチェックリストの作成を合同で行っています。「両川を誇り、挑戦しつづける たくましい子」の育成を目指し、9年間を見守っています。



プロジェクト会議



品格教育の取組/あいさつ運動の話し合い(左)と道徳の授業(右)



自尊感情の向上を目指して
東石山中学校 東中野山小学校
南中野山小学校

3校の連携と接続をより緊密にし、中学校区の「共通性」と各学校の「独自性」のある持続可能な「ゆるやかな一貫」を創り出すプロジェクトを立ち上げ、「自尊感情の向上」を目指した独自プログラムの策定と一部試行に取り組んでいます。

- ①「学級力向上プロジェクト」を取り入れた学級づくりの共通実践
- ②向社会的行動を促すスキル学習(「社会性と情動の学習」)の共通実践
- ③三校で身に付けたい「品格」を決め、期待される行動指標を子どもたちと共に設定し、学校・家庭・地域での実践を促す「品格教育」の実践



新潟市の小中一貫教育

新潟市の小中一貫教育は、中学校区ごとに行います。中学校区ごとに目指す子どもの姿を設定し、9年間の指導を通してその姿を実現します。本リーフレットには、新潟市の目指す小中一貫教育に取り組んでいただく際に参考としていただくため、8つのパイロット中学校区の取組を掲載しました。

新潟市では、全ての中学校区で取り組む**共通プログラム**と中学校区ごとに取り組む**独自プログラム**を組み合わせ実施します。

2020年度の全市展開を目指して、各中学校区でできるところから始めましょう。

2018年3月 新潟市一貫教育推進協議会

新潟市の一貫教育の目的は？

※新潟市の一貫教育には、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携も含まれます

確かな
学力の獲得

学校(園)間の
滑らかな接続

教職員の
資質の向上

経過と全市展開までのスケジュールは？ (2018年3月現在)

【2015年度】
パイロット校選定
共通・独自プログラム研究

【2016～2018年度】
パイロット校での
先行実施と検証

【2019年度】
小中一貫教育
全市展開準備

【2020年度】
新潟市の小中一貫教育
全市展開

スタート!

2020年度より全ての中学校区での実施を目指しています。

4つの共通プログラム

<教育課程に関連したプログラム>

9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間

生活科や総合的な学習の時間の教育課程に中学校区ごとの目指す子どもの姿を実現するための活動を位置付けます。



中学生が外国人に、下町を英語でガイド



小学生の班別地域探検



中学生によるイベントの開催

「貢献」をキーワードに 新潟柳都中学校 日和山小学校

「地域」に関する単元を核として、小学校3年から中学校3年までの7年間で設定しています。

小学校では地域を偉人・地理・歴史・福祉などの窓から「知る」ことで、地域への愛着や興味・関心を高めています。中学校では、小学校で学んだことをさらに深めるとともに、生徒自ら考え、創造して地域に「貢献」しています。さらに地域の活性化のために地域の良さや生徒の学びを「発信」しています。

また、それらの中ではピアサポートの考えから、小・中学生が共に活動します。活動の連続性は整いつつありますので、今後は、目指す姿に系統性をもたせ一貫教育を推進していきます。

味方に誇りにもち、 自分に自信をもって 日本や世界で堂々と 活躍できる子 味方中学校 味方小学校

味方中学校区では、2年前の小中一貫教育パイロット校指定を機に、育てたい子ども像を地域と共有しました。

その一つが「味方に誇りをもち、自分に自信をもって日本や世界で堂々と活躍できる子」です。小中一貫教育ビジョンを策定するとともに、9年間の連続性を大切に生活科・総合的な学習の時間の取組をしています。味方には他の地域に誇れる三つの教育資源があります。

- 地域の伝統行事「白根大風合戦」
- 国の重要文化財「笹川邸」
- 味方の生んだ偉人「平澤興」氏

地域の大人や他校の児童との交流を大切に「体験」と「学び」を通して、子どもたちに味方への誇りと愛着、自分への自信を育てています。



「笹川邸」でのボランティアガイド



「平澤興」氏について漆山小学校の児童に説明



小中一貫教育ビジョン

中学校区ごとの目指す子どもの姿の実現に向けて市内全ての中学校区において、教育課程に関連した二つのプログラムと、運営に関連した二つのプログラムに取組をお願いします。

9年間を見通した学習の仕方

授業の進め方、授業のきまり、家庭学習の約束などを設定し、中学校区で足並みをそろえて実施します。



赤塚中学校区学習スタンダード



小中学校共通認識の下での学習の仕方の指導

自ら明確な目的をもち、主体的に課題解決に向かって、仲間と共に最大限努力する子ども
赤塚中学校 木山小学校 赤塚小学校

赤塚中学校区では、小中学校が連携して、「赤塚中学校区学習スタンダード」を作成しました。学校での学習の仕方について、授業中の姿勢、話し方、聞き方など、これだけはぜひ身に付けてほしいという内容を示しています。また、家庭学習の仕方について、自分で計画を立てて学習ができるよう、学年ごとの目安となる時間や学習に取り組む心構え、学習の例を示しています。小中学校の全教室に掲示するとともに、各家庭にも配付し掲示をお願いします。小学校と中学校、そして家庭が共通認識の下で指導する中で、自ら明確な目的をもち、主体的に課題解決に向かって、仲間と共に最大限努力する子どもの姿を目指しています。

<運営に関連したプログラム>

中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会 R3より共通プログラムから外しました



地域連携会議（一貫教育推進委員会）



潟東地区教職員協議会

潟っ子9か年の学び 潟東中学校 潟東小学校

2016年度に潟東東・潟東西・潟東南小学校の3校が統合し、潟東小学校が開校しました。2021年度には、潟東中学校校地内に潟東小学校が新築され、一体型の校舎に生まれ変わる予定です。現在「小・中併設校」として、その基本設計の策定が進められています。

そのような中、地域にとって望ましい子ども像を構築するため「潟っ子9か年の学び」を地域の皆様と共に検討を重ねています。具体的には、小中学校職員で構成されている、既存の「潟東地区教職員協議会」を中核として推進しています。協議された内容は、コミ協・自治会・育成協等の地域代表の皆様へ伝達するとともにご意見を頂戴しながら理解を得ています。さらには、策定された内容を「潟東地区地域連携会議」において、進捗状況や内容を伝達し理解を得ながら当中学校区にふさわしい小中一貫教育を目指しています。

小中一貫合同研修会

小中の教職員が共に学ぶ場を設定し、互いの良さを取り入れながら力を高めます。



KPT法を用いて小グループで話し合い



発表会と全体会で課題を確認

自己肯定感をもち、協働する力を発揮する子ども 木崎中学校 木崎小学校 笹山小学校

木崎中学校区では、「自己肯定感をもち、協働する力を発揮する」子どもの姿を目指し、「やればできる、誰かの役に立つ」を合い言葉に、4つの部会を組織して小中一貫教育を推進しています。

小中合同研修会の一つ、7月10日に学力向上部が実施した「授業づくり研修会」では、木崎中学校全クラスの授業を公開し、木崎小学校、笹山小学校の全教員が参観しました。その後公開授業ごとに分かれて「KPT法」を用いた協議会をもちました。協議会後の全体会では、児童生徒が主体的に学ぶために、「学習課題の質を高め、提示に工夫をすることが重要であること」、「そのことを小中共通に意識した授業づくりを今後も推進すること」を確認しました。